

将来計画委員会

委員長：垣淵 正男

担当理事：木股 敬裕

委員：石河 利広、上田 晃一、門松 香一、久徳 茂雄、貴志 和生
寺師 浩人、林 礼人、堀 圭二朗、本多 孝之、松村 一

開催年月日：① 2021年7月22日(WEB会議)

② 2021年8月31日(WEB会議)

③ 2021年10月18日～29日(メール委員会)

④ 2021年12月20日(メールにて経過報告)

⑤ 2022年1月31日～2月7日(メール委員会)

⑥ 2022年3月1日～12日(メール委員会)

主な議題：

1. 評議員、役員選挙におけるウェブ投票の導入について
2. アンケート調査のウェブ化について
3. 学会の集約について
4. 学会の共催について
5. ロボット支援下内視鏡手術推進WGについて

活動の概要：

1. 評議員、役員選挙におけるウェブ投票の導入について
 - ・日本形成外科学会および他の基本領域学会を対象に、評議員（代議員）、役員選挙のウェブ投票の採用状況と費用および従来の紙ベースでの投票の費用などを調査した。
 - ・その結果、ウェブ投票は約半数の学会で採用されており、従来の方法より経済的であり労力も少ないことが分かった。
 - ・その他のウェブ投票のメリットは、役員選出時期および、委員会活動開始時期の前倒しが可能になることが挙げられた。
 - ・委託先は数社の候補の中から、他の医学会において既に実績のある杏林舎と東京コンピュータの2社に絞って、以下の課題を検討した。
 - ① 費用
 - ② 操作性
 - ③ 信頼性
 - ④ アンケート機能
 - ⑤ 匿名性の担保
 - ⑥ 不具合に対する補償
 - ・定款変更の必要性の検討を制度検討委員会に付託した。
2. アンケート調査のウェブ化について
 - ・ウェブ投票と同様に他の基本領域学会について調査した。
 - ・既に多くの学会が既に行っており、集計や解析の迅速性、経費削減などのメリットがある。
 - ・ウェブ投票の委託先候補の2社について、費用などを検討した。
3. 学会の集約・共催について
 - ・他の基本領域学会およびその関連学会について調査した。
 - ・事例は多くないが分野が重なる学会の共同開催は行われている。

- ・学会の統合の事例もあるが、多くの場合は困難と思われる。
 - ・合同開催は、主催者にとっては会場の確保、開催費用の捻出、参加者にとっては出張回数や期間の減少、研修単位取得の効率化などのメリットがある一方、開催費用の按分、開催時期の調整などの問題もある。
 - ・日本形成外科学会総会および基礎学術集会と複数の関連学会を合同開催する「形成外科ウィーク」について検討し、日本美容外科学会、日本創傷外科学会、日本頭蓋顎顔面外科学会、日本形成外科手術手技学会に共催の検討を依頼した。
4. ロボット支援下内視鏡手術推進 WG について
- ・「ダヴィンチを用いた手術」、「そのほかのロボットの開発」、「その他の先進技術」の3グループが、形成外科領域での保険収載、他のロボット開発プロジェクトとの連携、新規の先進技術開発などを目的に活動している。
 - ・この WG は当委員会内で立ち上げられたが、社会保険委員会に紐付けられることになった。
 - ・第 65 回日本形成外科学会総会で、本 WG のシンポジウムが行われた。